12歳未満接種 3月にも

ワクチン 一般3回目も前倒し

首相表明

岸田文雄首相は十一日、新型コロナウイルス「オミクロン株」感染の急拡大を踏まえ、これまで対象外だった十二歳未満の子どもへのワクチン接種を早期に始めると表明した。対象年齢を広げる手続きを経て、希望者に三月以降開始する見通しだ。三回目接種は高齢者に加え一般分も前倒しするとして、自衛隊が運営する大規模接種センターを再び開設する意向も示した。昨年と同様、東京と大阪の二カ所に三月以降置く方向で調整。政府として自治体による大規模接種会場設置も支援する。

岸田文雄首相の発言ポイント

- 12歳未満の希望する子どもに対し、早期に新型コロナウイルスワクチン接種を開始
- 外国人の新規入国を原則禁止する水際強化措置を2月末まで継続
- ワクチン3回目接種は高齢者に加え、一般分も前倒し。自衛隊が運営する大規模接種センターを再び開設
- 追試や再追試による受験機会を確保。4月以降の入学対応も要請
- 保健所や各自治体の業務円滑化へ、各都道府県知事に協力要請

首相は外国人の新規入国を原則禁止している水際強化措置について「二月末まで骨格を維持する」と述べた。官邸で記者団の取材に答えた。全国知事会とのオンラインでの意見交換会に出席し三回目接種を巡る体制強化への協力を求めた。

子どもへの接種を巡っては、米製薬大手ファイザーが対象年齢を五～十一歳にも広げるための承認を厚生労働省に申請している。五～十一歳の全員を接種の対象にする場合、約七百万人に上る見込み。安全性や有効性の確認を経て薬事承認され、厚労省ワクチン分科会が実施要領を決めれば接種が可能となる。首相は「希望者に対して、できるだけ早く接種を始める」と強調した。

一方、ワクチンの三回目接種を終えたのは十一日現在で約八十七万人にとどまる。厚労省などは、二回目から八カ月の従来間隔で三月以降に予定されていた六十四歳以下の一般の人や職場接種を、一カ月前倒しすることを軸に調整している。追加供給で合意した米モデルナ製千八百万回分を活用する。